ELMO

スーパー412·XLマクロ
スーパー614·XLマクロ

取扱い説明書

撮影される前に

① バッテリーをチェックしましょう。

バッテリーの能力が低下しているとカメラが動かなかったり止まらなかったりすることがありますので、必ずチェックして下さい。

② フィルター切換えつまみは、正しく切換えてありますか。

屋外（太陽光下）で撮影するときは☼**マーク**が見えるように、室内の電灯照明下で撮影するときは💡**マーク**が見えるように切換えて下さい。

③ ピント合わせはFFでOK

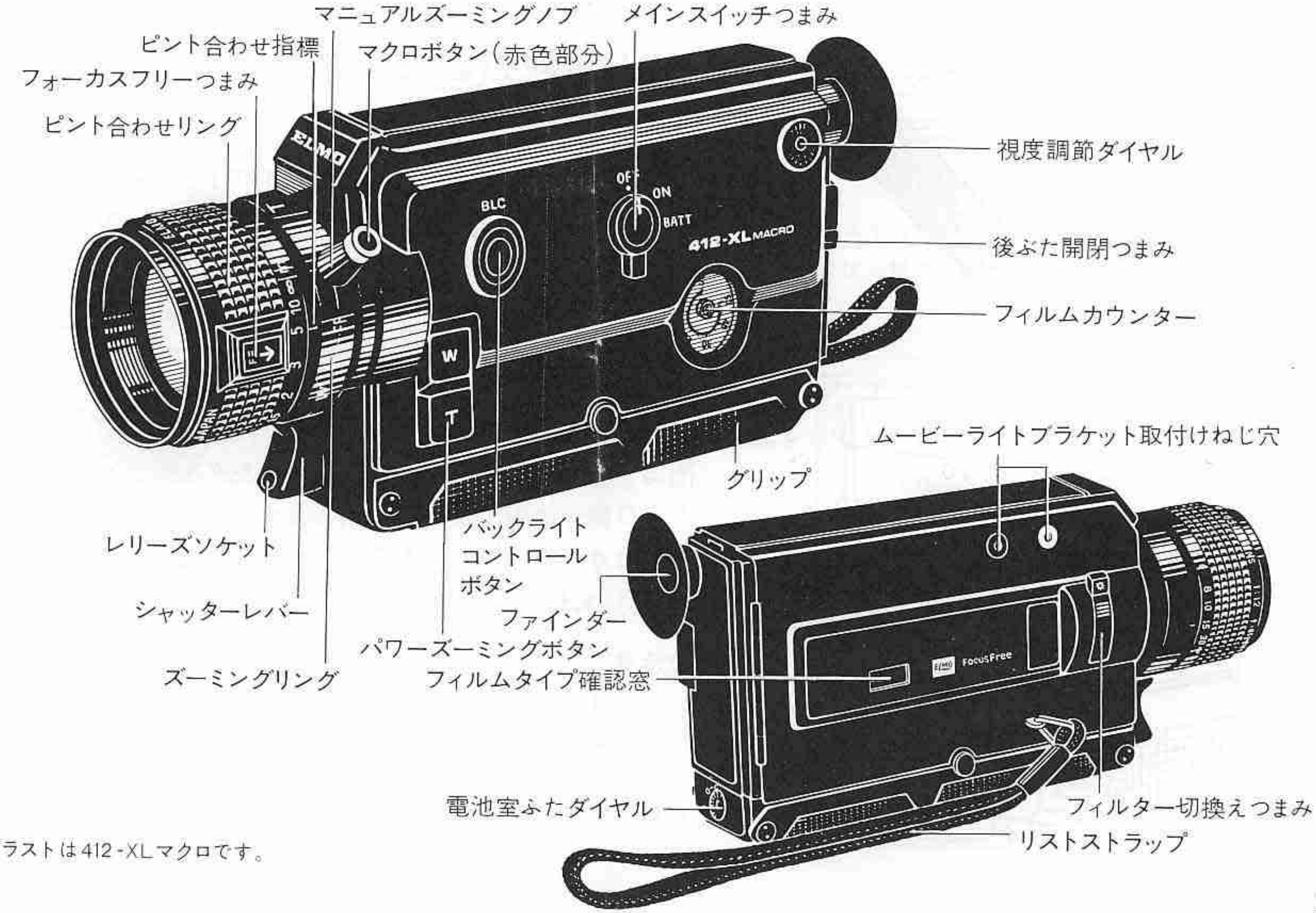
通常の撮影ではＦＦ（フォーカスフリー）にセットしておけば、ほとんどのシーンはピント合わせをせずに撮影できます。（5ページ参照）

④ 1カット（シャッターレバーを引きつづけている時間）は5秒以上にしましょう。

カットが短いと映写するときに見にくい画面になります。**撮影中はカメラをやたらに左右に振りまわさないで、じっくりかまえてとりましょう。**

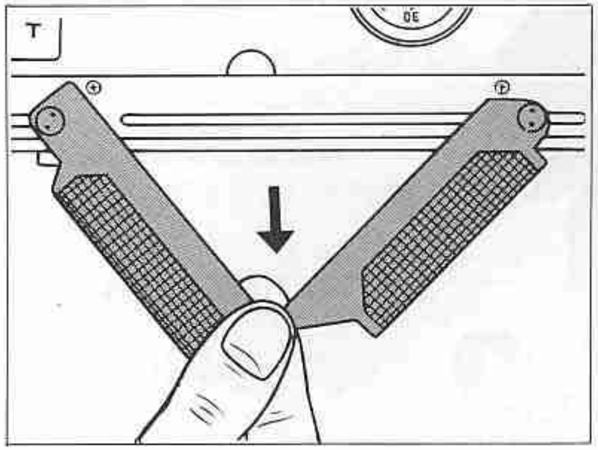
この説明書は、4倍ズームの412-XLマクロと、6倍ズームの614-XLマクロがいっしょになっています。
この2機種はレンズ及びサイズ、重さがちがう他は同じになっています。

各部の名称



イラストは412-XLマクロです。

準備

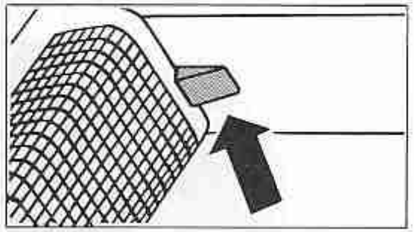


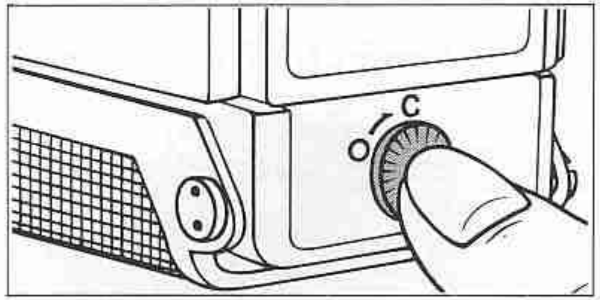
1 グリップを起こします

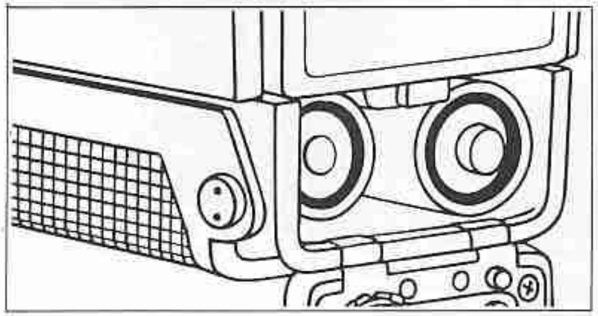
中央部のつまみを指ではさんで図のように起こして下さい。

● グリップのたたみ方

カメラ底部の白色のロックボタンを中へ押せば、グリップをたたむことができます。







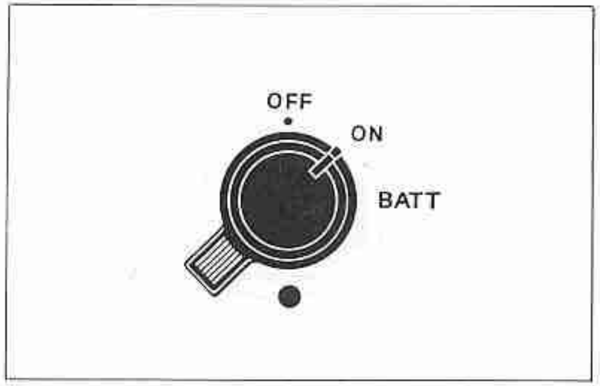
2 電池を入れます

図のようにカメラ後部下の電池室ふたダイヤルを親指の腹で左（O側）に回すとふたが開きます。

電池はカメラの底面にある⊕⊖マークに従って、正しく入れて下さい。(ふたを閉じるときはC側にして下さい。)

ご注意

1. ⊕⊖の向きを間違えて入れるとカメラが正しく作動しません。
2. 永い間カメラを使用されないときは必ず電池を取り出しておいて下さい。
3. 電池を交換されるときは必ず、すべて新品と交換して下さい。

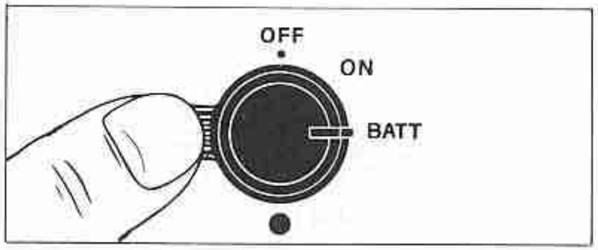


3 メインスイッチつまみをONにします

これでカメラは作動準備完了です。

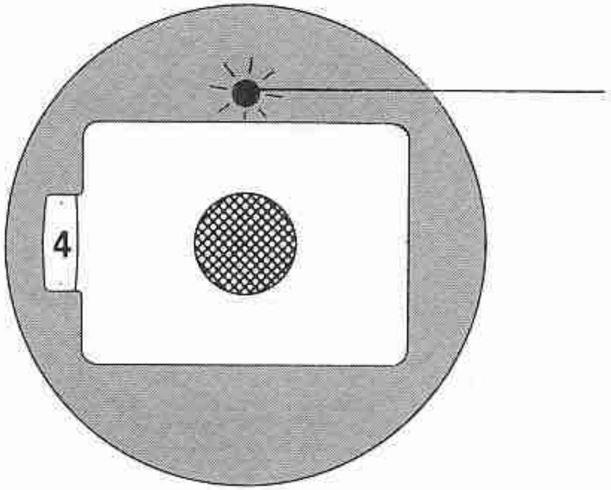
ご注意

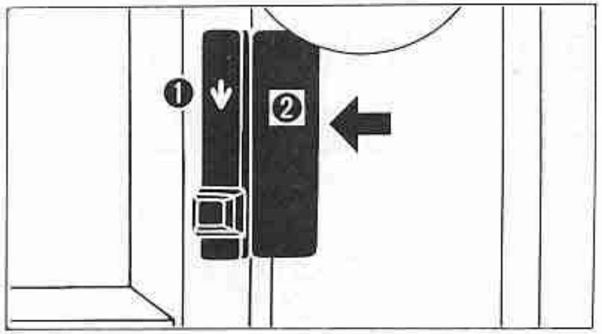
撮影されないときはメインスイッチつまみはOFFの位置にしておいて下さい。電池の無駄な消耗を防ぎます。

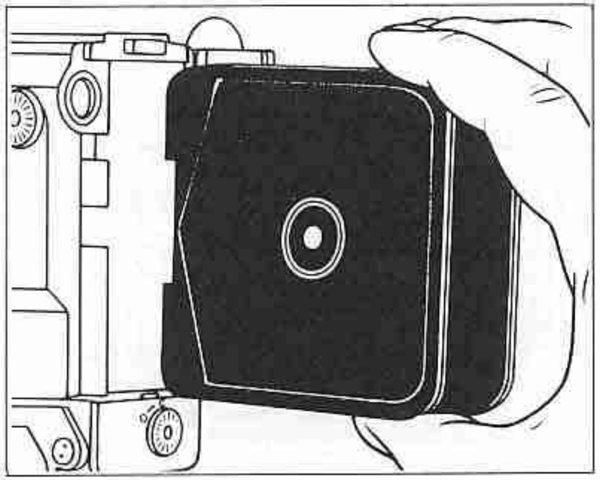


4 電池の能力のチェック

メインスイッチつまみをONの位置からBATTの位置にします。ファインダー内の赤いランプが点灯すれば電池の能力は十分です。

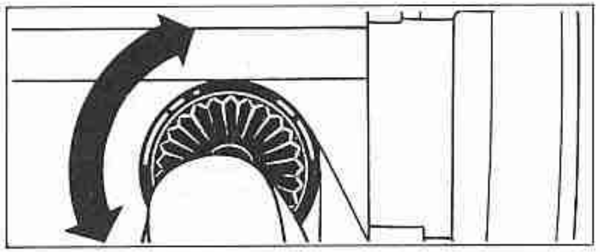






5 フィルム装てん

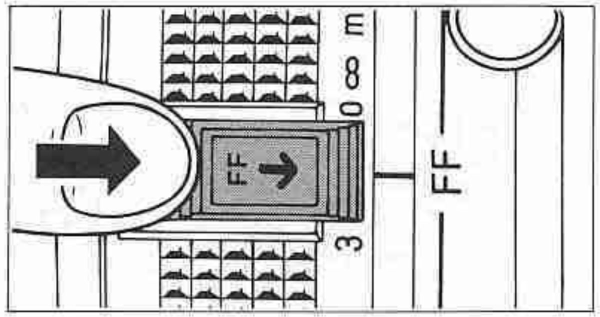
図のように後ぶた開閉つまみを①の矢印のように下へ押しながら後ぶたを開きます。
次にカートリッジを差し込み、止まる所まで押し込んで下さい。(カートリッジの向きに注意して下さい。)
カートリッジ装てん後、②のところを矢印の方向に押すと、後ぶたがカチッと閉じます。
(①の方向に下げながら押しても後ぶたは閉じません。)
(カートリッジを装てんすると今まで**ファインダーの右側に見えていた赤色のフィルム在否マークが消え**、撮影準備ができていることを表します。8ページ参照)



6 視度調節

図のように視度調節ダイヤルを親指の腹で回して、ファインダーマスクがはっきり見えるように視度を調節して下さい。

撮影



1 FF(フォーカスフリー)とピント合わせ

このカメラにはFF機構がついています。
FFにセットすると、特にピント合わせをしなくても、いつでも鮮鋭な画像が得られます。
ピントの合う範囲（被写界深度）は、次の通りです。

412−XLマクロ			
	F1.2	F4	F11
8.5mm	約1.9m〜∞	約0.8m〜∞	約0.3m〜∞
15mm	約3.3m〜∞	約1.8m〜∞	約0.8m〜∞

614−XLマクロ			
	F1.4	F4	F11
8mm	約1.6m〜∞	約0.7m〜∞	約0.3m〜∞
16mm	約3.3〜11m	約 2m〜∞	約 1m〜∞

●FFの使い方

ズーミングリングを−FF−の範囲にし、**ピント合わせリングを5mにして**FFつまみを矢印方向にスライドさせて下さい。
ズーミングリングは412-XLマクロのときは8.5mm〜15mmの範囲に、614-XLマクロのときは8mm〜16mmにそれぞれ制限されますが、ピント合わせは必要ありません。

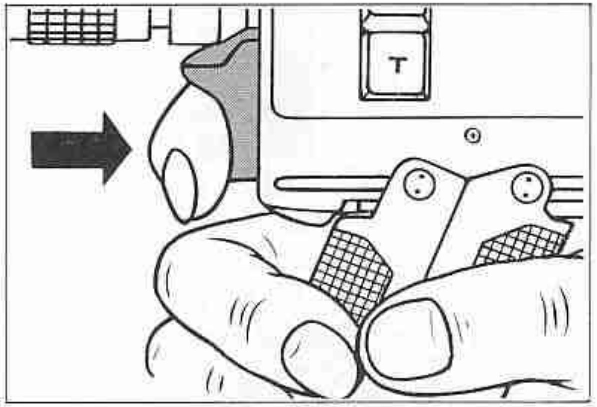
●こんなときにはFFを解除してピント合わせをして下さい。

- ●暗い所(412-XLマクロではF1.2、614-XLマクロではF1.4の付近）で近距離にあるもの（被写界深度外)を撮影するとき。
- ●マクロ撮影をするとき。
- ●FF範囲以外の焦点距離で撮影されるとき。

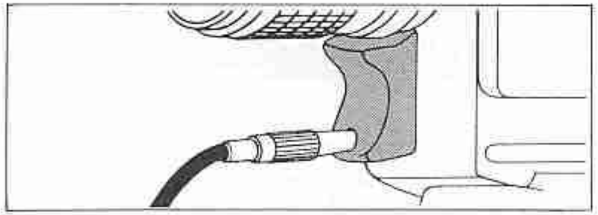
ピント合わせ

FFを使用しないときは、ファインダー内のマイクロプリズムの像がハッキリ見えるようピント合わせリングを回して調節して下さい。

2 シャッターレバー

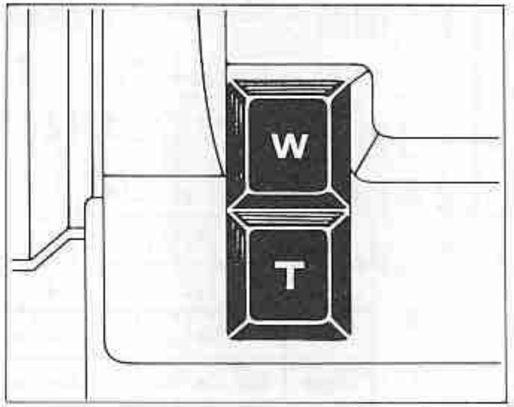


撮影するときはシャッターレバーをひいて下さい。

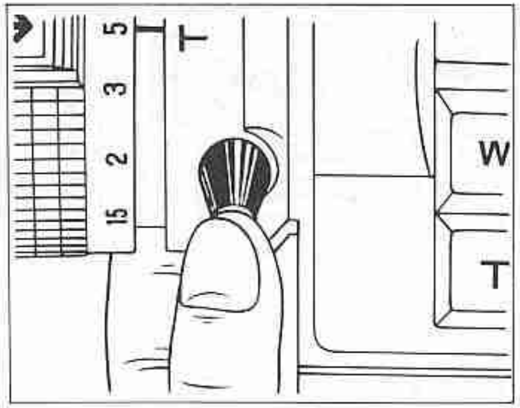


三脚にカメラを取付けて撮影する場合などは、シャッターレバーのレリーズソケットにケーブルレリーズを取付けて操作して下さい。

3 ズーミング



パワーズーミングボタン

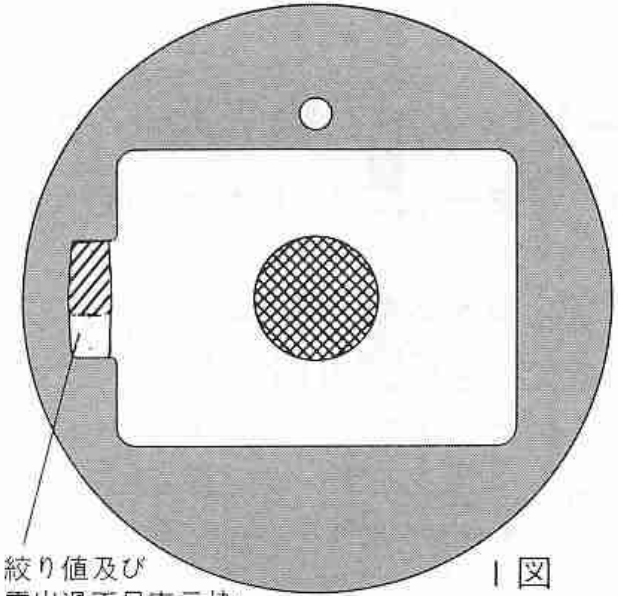


マニュアルズーミングノブ

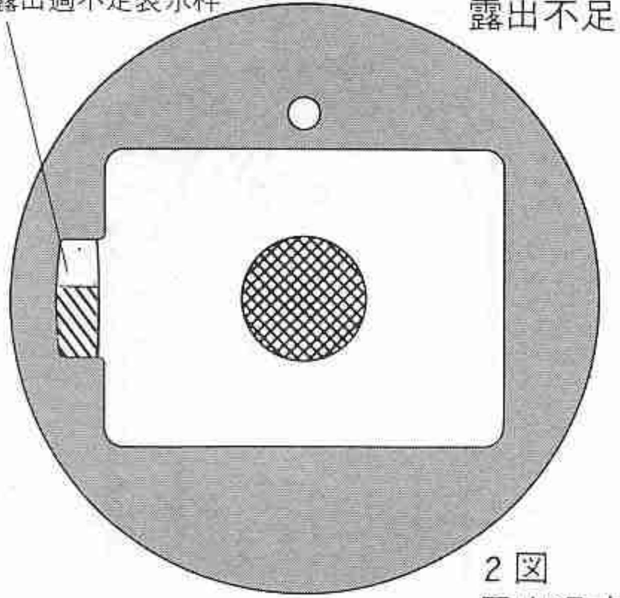
パワーズーミングボタンの下側を押すとズームアップ、上側を押すとズームバックします。

TからWまで、またはWからTまで約9秒のスローズーミングがたのしめます。

トリミングや急速ズーミングのときは、マニュアルズーミングノブでお好みの速さで操作して下さい。



1図
露出不足のとき



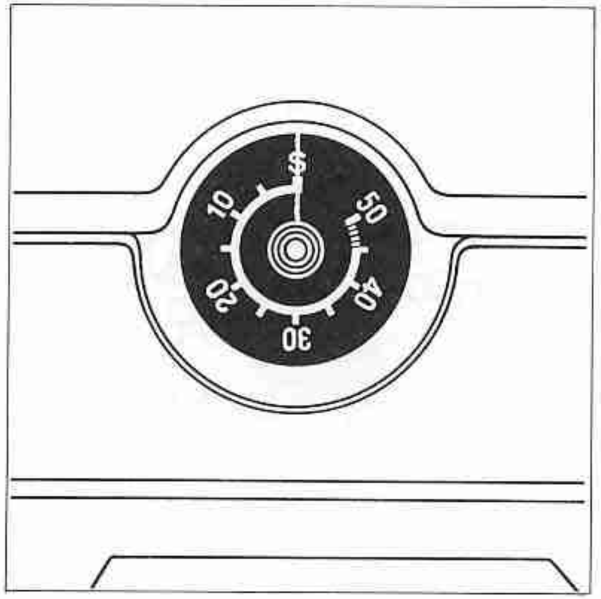
2図
露出過度のとき

4 露出

完全自動絞り方式ですから撮影には全く露出の心配はいりません。

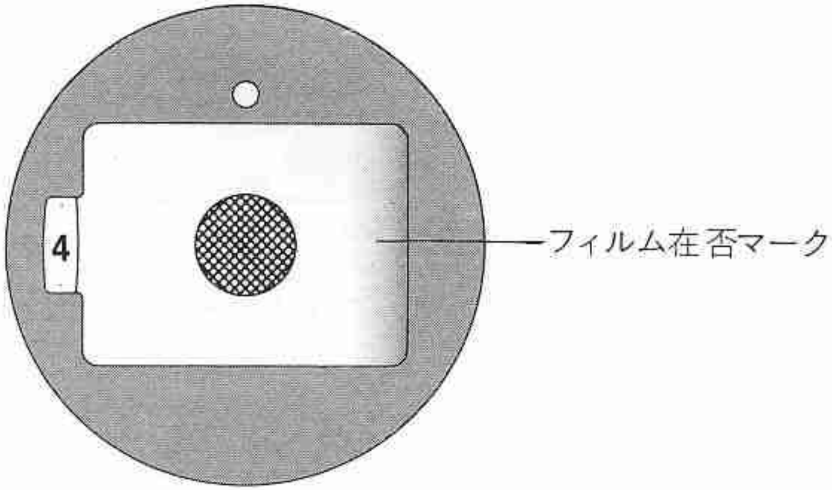
但し、ファインダーマスクの左側の絞り値表示枠が、1図のようになったときは**露出不足**ですからエルモムービーライトEL-650Nをご使用下さい。(9ページ参照)

2図のようになったときは**露出過度**ですから、ND4フィルターをご使用下さい。

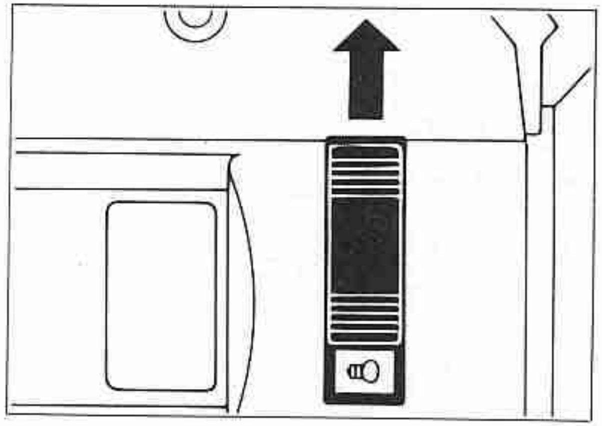


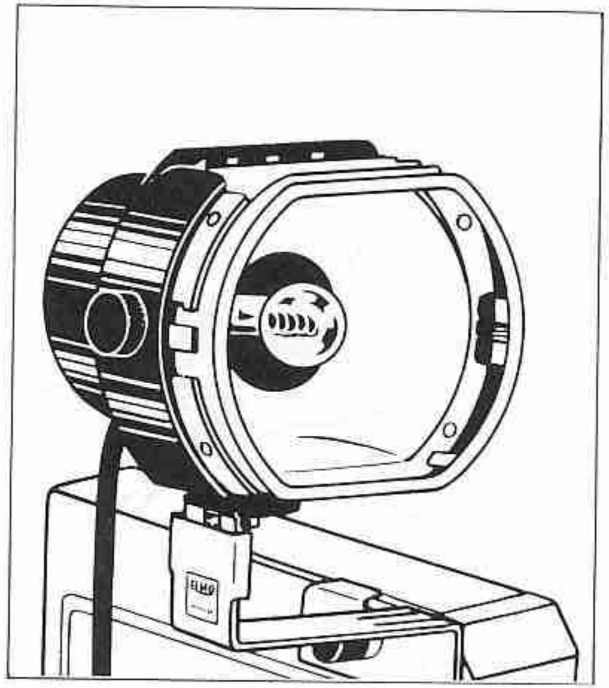
5 フィルムカウンターとフィルム在否マーク

カメラ側面のフィルムカウンターは撮影されたフィルムの長さを示します。
指標が50近くにきても、**ファインダー内に赤マーク（フィルム在否マーク）が現われるまでは撮影を続けて下さい。**フィルムがなくなるとファインダー内に赤マークが現れます。
フィルム1本の長さは約15m（50フィート）です。



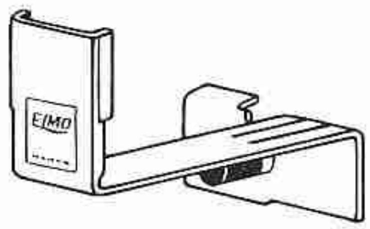
こんなときには





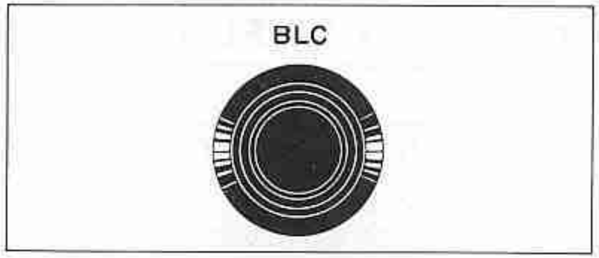
1 電灯照明下での撮影について

室内などの電灯照明下で撮影するときは、赤色の マークが見えるように側面にあるフィルター切換えつまみを上にスライドして下さい。(太陽光で撮影するときは☼マークが見えるように切換えて下さい。)
このカメラは暗い場所でもライトなしで撮影できるローライトカメラですが、さらに明るく撮影したいときや極端に暗い所ではアクセサリーのエルモムービーライト EL-650N をご使用下さい。
※カメラ側の2つの穴は、ムービーライト本体を取付けるブラケットの取付け専用ねじ穴とガイド穴です。



ムービーライトブラケット

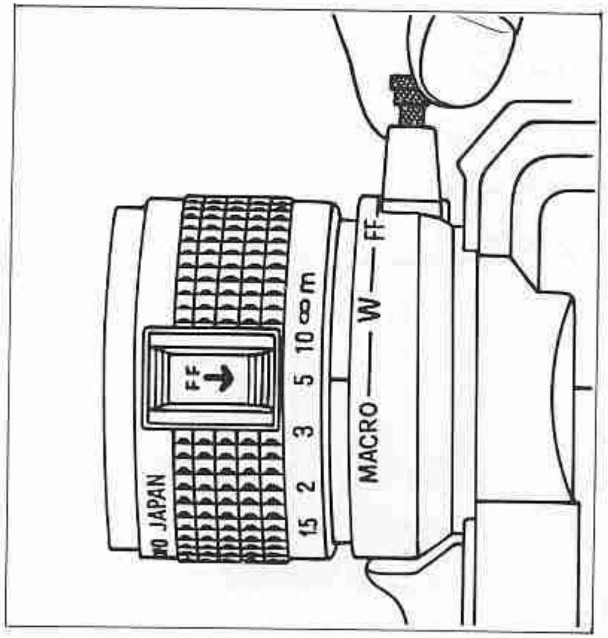


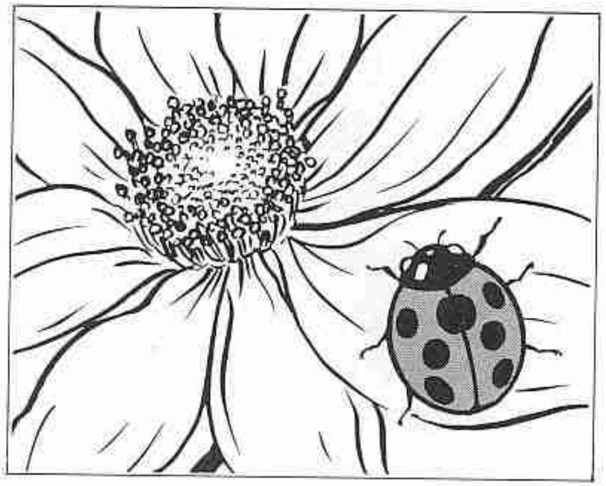




2 逆光撮影

背景が非常に明るい時の人物等を撮影するとき、そのまま撮ると人物が真黒になってしまうことがあります。このような場合、バックライトコントロール（逆光補正）ボタンを押しながら撮影すると人物等がきれいに写ります。



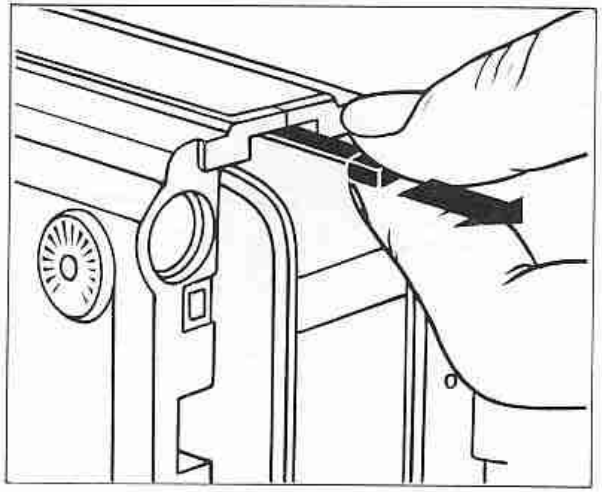


3 マクロ撮影

タイトル撮影や花などをアップで撮るときにはマクロ撮影をおすすめします。
ズーミングリングをW（広角）側にし、次にマニュアルズーミングノブの頭の赤色のマクロボタンを引きながら、さらにMACRO側に回しますとマクロにセットできます。
ズーミングリングを回しながらファインダーをのぞいてマイクロプリズムで合わせます。
通常撮影状態に戻すときはズーミングノブをT（望遠）側に回すと自動的に戻ります。マクロで最も接近できる距離および撮影画面サイズは下表の通りです。

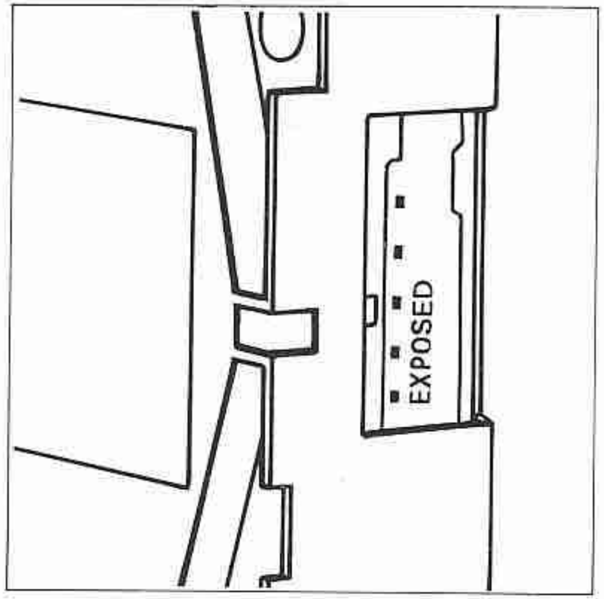
	最短（レンズ前面より）	撮影画面サイズ
412-XL	8.5 cm	8 cm × 6 cm
614-XL	5 cm	6 cm × 4.5 cm

撮影を終って



1 フィルムの取外し方

カートリッジを取出すときは、後ぶたを開けて図のように引き出しつまみを引くと、中のカートリッジが出てきますので、カートリッジの左右をつまんで取出して下さい。



2 フィルムの現像

撮影済みのフィルムは、カートリッジのままカメラ店にお持ちになるか、フィルムに添付されている説明書に従って現像所へお送り下さい。現像後、リールに巻かれて返送されてきます。

ご注意

現像所では、フィルムが最後まで撮影されていないと現像を受付けない場合がありますので、必ず全部撮影後、カートリッジのアパーチュア部分に、EXPOSED（撮影済）の文字が出ていることを確認してから現像に出して下さい。

仕様

	412-XLマクロ	614-XLマクロ
使用フィルム	スーパー8サイレントフィルム	
レンズ	4倍エルモズームレンズ F1.2 f=8.5～34mm。 フィルターねじ径49mm フォーカスフリー、 マクロ撮影機構付	6倍エルモズームレンズ F1.4 f=8～48mm。 フィルターねじ径52mm フォーカスフリー、 マクロ撮影機構付
こま送り速度	18こま／秒	
シャッター開角度	220度	
絞り	CdS使用、TTL方式完全自動絞り、 BLC（バックライトコントロール）可能	
ファインダー	1眼レフ方式、マイクロプリズム距離合わせ。 露出過不足表示、絞り値表示、フィルム在否・ 終了表示、バッテリーチェック表示内蔵。視度 調節可能（－5～＋2.5diopt）	
ASA感度	昼光25、100　人工光40、160	
ズーミング	パワーズーミング可能、約9秒 マニュアルズーム可能	
フィルムカウンター	順算自動復元式	
85フィルター	フィルター切換えつまみによるマニュアル操作	
電源	単3電池（SUM-3、AM3）4本、6V	
大きさ・重さ	197×99×41mm、 700g（本体）	204×99×41mm、 720g（本体）

仕様は予告なしに変更することがありますのでご諒承下さい。

アフターサービスについて

1. 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。又、運賃諸掛りはお客様にご負担願います。
2. 本製品の補修用部品は10年間を目安に保有しております。したがって、本期間中は原則として修理をお受け致します。
   尚、期間後であっても修理可能の場合もありますのでお買上げ店か、お近くの当社サービス機関にお問い合わせ下さい。
3. 修理に直接関係のない付属品類は、紛失等のトラブルの原因となる場合がありますので、なるべく修理品と共にご持参にならないようお願い致します。

その他

長期間ご使用がなかったり、特に重要な撮影の前には取扱い説明書の点検要領で各部の作動をご自身でチェックされてからご使用下さい。

ELMO 株式会社 エルモ社

製品についてのお問合わせは、最寄りの弊社営業所又は出張所へ。

本社工場	名古屋市瑞穂区神穗通1丁目6番地	電話(052)811-5131番	〒467
東京営業所	東京都港区三田3丁目11番37号	電話(03)452-6251番	〒108
エルモ視聴覚センター	東京都港区西新橋1丁目7番2号 虎ノ門 高木ビル8階	電話(03)508-1581番	〒105
大阪営業所	大阪市東区高麗橋詰町1番地	電話(06)942-3221番	〒540
名古屋営業所	名古屋市中区大須2丁目2番6号	電話(052)231-8341番	〒460
九州営業所	福岡市博多区下川端町10番10号	電話(092)281-4131番	〒812
北海道営業所	札幌市中央区北二条西3丁目1 越山ビル5階	電話(011)221-1491番	〒060
仙台営業所	仙台市中央4丁目10番14号 エノトセーフビル1階	電話(0222)66-3255番	〒980
広島営業所	広島市中町8番12号 広島グリーンビル5階	電話(0822)48-4800番	〒730
横浜営業所	横浜市神奈川区金港町3−5 太陽生命横浜ビル8階	電話(045)461-1982番	〒221
大宮営業所	大宮市東町1丁目42番地 スギタビル2階	電話(0486)44-9400番	〒330
金沢営業所	金沢市玉川町11番18号 新石川ビル7階	電話(0762)33-1285番	〒920
四国営業所	高松市寿町2丁目4番20号 千代田生命高松ビル4階	電話(0878)21-8344番	〒760
京都営業所	京都市中京区柳馬場通御池下ル柳八幡町65 京都朝日ビル7階	電話(075)223-0120番	〒604
神戸営業所	神戸市灘区岩屋中町1丁目2番9号 エビスビル1階	電話(078)882-0303番	〒657
静岡営業所	静岡市伝馬町24番地の2 静岡住建ビル2階	電話(0542)52-6333番	〒420
松江出張所	松江市東本町3丁目6番地 柿田ビル4階	電話(0852)22-0276番	〒690
鹿児島出張所	鹿児島市中央町11番地の5 南国日生ビル2階	電話(0992)52-5463番	〒890
新潟出張所	新潟市米山3丁目1番5号 駅南ビル4階	電話(0252)41-3916番	〒950
秋田出張所	秋田市山王6丁目2番10号 大丸ビル2階	電話(0188)62-4552番	〒010
松山出張所	松山市千舟町4丁目1番5号 高岡ビル1階	電話(0899)43-8341番	〒790
岡山出張所	岡山市中山下1丁目9番40号 新岡山ビル10階	電話(0862)31-3205番	〒700

海外現地法人

アメリカ (ニューヨーク)
Elmo Mfg Corp.
70 New Hyde Park Road,
New Hyde Park, NY11040
Tel. (516)775-3200

(ロスアンゼルス市郊外)
21220 Erwin Street, Woodland Hills,
CA 91367
Tel. (213)346-4500

西独 (デュッセルドルフ市)
Elmo (Europe) G.m.b.H.
Elmo-Haus, Steinstr. 23,
4000 Düsseldorf,
Tel.(0211)326867,326895

カナダ (トロント市郊外)
Elmo Canada Mfg. Corp.
44 West Drive, Brampton,
Ontario L6T 3T6
Tel. (416)453-7880

T−②−305C245